

# マッスルコンテスト&マッスルゲート 大会出場結果のご報告

ベルジウムからは  
栢山&木村が  
出場!!

2月13日(土)、14日(日)に開催されました、筋肉美を競う世界規模の祭典「マッスルコンテスト」及び「マッスルゲート」にベルジウムより2名が出場し、輝かしい成績を収めました!!

## ◆マッスルゲート パワーコンテスト ビッグ3チャレンジ



去年はコロナ禍で大会がほとんど中止になっておりましたので、久しぶりの大会でした。

結果は自己ベストを更新しての優勝をすることができました。

コロナ禍での大会でしたので、検温、除菌、マスク着用、観客の制限などしっかりとした対策を実施しており安心して大会に臨めました。我々競技者は大会でこそ自分自身を証明する場なので、大変な環境の中大会を開催していただいたTHINKフィットネス様には大変感謝しております。

また今回の大会はベルジウムメンバーの方も多数参加されており、皆さま良い結果を残してトレーニングのモチベーションを高められておりました。

次戦は4月のパワーリフティング東京大会に参加予定となり、三重国体の予選になります。

今年は国体優勝を目指して更に頑張っていきます!

木村 琢磨

## ◆マッスルコンテスト マスターズ(40歳以上)・オープンクラス(年齢無差別級)



オリンピック開催可否や選手動向についての報道も増えており、コロナ禍でこういった大会を開催することや、出場自体へ否定的な意見もあると思います。

しかしながらベルスポ、ベルジウム営業継続の判断をしている以上、コロナを理由にしての不参戦の選択はありませんでした。むしろクラブ代表として景気づけに「絶対優勝」の意気込みでした。

私の場合、コンテストに向けて減量などの準備は大会4か月くらい前からスタートします。大会が開催されるか、されないかがまだ決まっていない中での調整は今まで経験がなく、モチベーションの維持がなかなか大変でした。更に年明けには「予定されていた国際大会としての開催が中止」との発表があり、国内大会としてのみの開催へ変更となった際は気持ちが揺らぎました。

このような状況になると「出場を辞退する理由」が頭にどんどん湧いてきます。その雑念を払えたのは「ここで出場を取り辞めて当日後悔する自分が嫌だ。」という意地と「応援のお声かけをしてくださったお客様の期待に応えたい。」という気持ち、そしてジムの営業はコロナ理由に止めないのに自分は辞めるのか」というプライドでした。

オリンピックに出場するようなトップアスリートと比べるのも烏滸がましいですが、もしオリンピックが開催され、そこで勝つ選手はメンタルが強い選手だなと思います。若手の選手ならオリンピックも「次への通過点」として開催関係なく日々のトレーニングを継続できると思いますが、一年一年が勝負のベテラン選手ではなおさらかだと思います。

私は今回やりきれたことで、新たな気づきがたくさんありました。経験とはインターネット等からの情報収集や想像力を働かせるだけでは足りず、やはり自分の実体験でしか身に付かないものだとつくづく感じます。この経験をジム運営に活かして参ります。

栢山 猛